

榛原総合病院 だより

2020
第171号



年頭のごあいさつ

院長 森田 信敏

新年明けましておめでとうございます。

地域の皆様のご支援と職員の努力で良い新年を迎えることができましたことに感謝申し上げます。

令和という新時代を迎え、我々榛原総合病院は、指定管理者制度更新による新たな10年を迎えます。令和は我々にとってどんな時代になるのでしょうか。AI革命による新しい社会でしょうか。日本が現在のように世界の中で一定の地位を確保し続けることができるのか、医療に限っては皆保険制度が維持していけるのか心配であります。ただいづれにしろ、我々のような中規模病院が生き残るには難しいかじ取りを強いられることは間違いないものと思います。昨年の当院は、回復期病棟の運営が本格化し、地域の中にも定着してきたように感じます。また休床していた西3病棟を30床ではありますが急性期病棟として開床することができました。例年であれば常態化していた冬場の全館満床状態が緩和できるものと思われまます。冬場以外は急性期全体を8割程度で運用できれば、スタッフの負担軽減にもつながるはずです。総合内科におきましては、3名いづれもベテランの医師に活躍いただいております。

昨年から話題の働き方改革では、いよいよ実行の時を迎えつつも医師含めスタッフ確保に相変わらず苦労している地方病院にとっては対応が大変難しいものです。また、昨年後半から地域医療体制協議会などにおいても病床削減圧力が特に強くなっており、再編・統合検討病院として424病院の実名発表がされたあたりから国の本気度が伝わってきています。休床病棟の再開棟は待たなしの状況で、近隣病院の状況や当地域の医療ニーズの推移を踏まえて、自分たちの病院の立ち位置をしっかりと見据えていかなければなりません。今年が大きな節目の年になると思います。

昨年は、地域の皆様のご支援と職員のがんばりによって病院の運営は良好に推移しました。まだまだ地域の皆様のニーズには応えきれておりませんが、今年も少しずつ前に進んでいきたいと思ひます。

今年一年が牧之原、吉田地域にとって、また榛原総合病院にとってすばらしい年となることを祈念して新年のご挨拶とさせていただきます。



新任医師紹介

<12月赴任医師>

■ 健診センター おきなが としちか 沖永 利親 医師



ボランティア連絡協議会活動報告

<11・12月の活動>ありがとうございました

毎週月曜日 吉田町赤十字奉仕団の皆さんほか(玄関ボランティア)

11月10日(日) 病院祭参加

11月16日(土)・12月21日(土) はばたけ榛原ガーデン(玄関前ロータリー花壇整備)

11月27日(水)・12月18日(水) 更生保護女性会(袋折り畳み作業)

12月24日(火) 榛原教会 クリスマスキャロル

12月25日(水) ボランティア連絡協議会主催(協力:都の会) クリスマス会



<おねがい> 受診の際には、必ず『おくすり手帳』をご持参ください。

榛原総合病院の理念

✦生命を安心して預けられる病院

✦健康と生活を守る病院